2023 年度　専門学校早稲田国際ビジネスカレッジ事業報告

（2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日）

（担当者：教頭　宮内健太郎）

●在籍者数（2024 年 5 月 1 日現在）　（単位：名）

課程	工業	文化教養				計
学科	国際情報	国際教養	デザイン総合		国際コミュニケーション	
			デザイン	テキスタイルデザイン		
入学定員	30	65	20	20	20	155
収容定員	60	130	40	40	40	310
1年	32	71	16	26	8	153
2年	19	55	1	9	0	84
合計	51	126	17	35	8	237

※編入学での受入数は 2 年生に計上（国際教養学科 23 名、国際情報学科 7 名）

Ⅰ．2023 年度の事業概要

事業計画項目		達成度
1	【国際教養学科・国際情報学科】 東京大学学部または東京大学大学院に合格者を輩出 【デザイン総合学科】 有名美術大学への合格者を 5 名以上輩出	東京大学文科Ⅲ類に合格　　100％達成。 早稲田大学・慶應義塾大学の一般入試で合格者を輩出 就職希望者 3、内定者 3　100％達成。 武蔵野美術大学合格 2、女子美術大学合格 1　60％達成
2	【国際教養学科・国際情報学科】 難関大学の広報担当者を招き、進学説明会を開催 【デザイン総合学科】 イベント出展により認知度の拡大と定員の確保	立命館大学大学院・国際基督教大学(8 月)、慶應義塾大学・東京理科大学・(10 月)の進学説明会を開催　100％達成 染の小道で暖簾 8 店展示、藍染ワークショップ参加 100％達成 入学者数 42 名　100％達成
3	【国際コミュニケーション学科】 プロゲーマーを招き、卒業後を見据えたキャリア指導を行う 【デザイン総合学科】 生産現場への見学し、製造工程の実情を知る機会を設ける	岸大河先生に特別講演に来ていただいたほか、大会等の現場でインターンシップを行った。　100％達成 山梨県富士吉田市へ織工場の見学　100％達成 地域性や歴史を学びながら仕事内容のイメージを喚起させた。

Ⅱ．2023 年度の取り組み

1．2024 年度入学生募集活動　＜入試状況＞

学科	受験者数	※入学者数
デザイン総合	61 名	41 名
国際コミュニケーション	8 名	8 名
国際教養	202 名	94 名
国際情報	91 名	40 名

＜募集活動における課題と改善策＞

【国際教養学科・国際情報学科】

・学校説明会を平日夜にも開催するなど、参加者が柔軟に参加できる環境を提供した結果、出願者数は昨年度を 95 名上回った。次年度は学部進学希望者の出願者数増および質の高い学生の確保につながるよう、日本語学校訪問でのトークを工夫していくほか、日本語学校との連携を強化していく。
・新入生の多くが入学のきっかけとして「友人からの紹介」を挙げているため、同窓会をはじめとした縦のつながりを増やすことで「友人からの紹介」による出願者増につなげる。また、合宿をはじめ、ティーチングアシスタントや先輩と行く難関大学のキャンパスツアーなどといったイベントを多く実施し、他校にはできない留学生教育を実現していく。

【デザイン総合学科】

・HP からの資料請求をさらに増やすべく、テキスタイルデザインコース HP に「テキスタイルデザイナーの仕事」「テキスタイルデザインとは」等の記事を追加し、「テキスタイル」「デザイン」を検索した際に当校が上位表示されるようにし、資料請求数増につながる施策を講じていく。
・留学生が使用しているアプリ「小紅書」の更新を頻繁に行い、デザインコースの認知度を高めるとともに、日本語学校をはじめとした教育機関の訪問を引き続き行うことで募集につなげる。

【国際コミュニケーション学科】

・e-sports コースでは、e スポーツが盛んであり、ターゲットとなる高校生が在籍する高校を訪問していく。さらに、広告塔になれるような著名なプロゲーマー・ストリーマーを講師として招聘して SNS で発信することで、魅力ある学習環境であることを広くアピールしていく。

2. 2023 年度に実施した新たな事業内容の結果と 2024 年度への課題

項目	事業内容	2024 年度への課題
(1)外部イベント参加	日本現代工芸美術展や地域イベント「染めの小道」への出展	これまで参加したコンクール、地域イベントの他にデザインフェスタなどの出展を増やし、知名度と認知度の向上を図る。
(2)デザインコース新設	難関美術大学・大学院合格に向けた進学教育	新たにティーチングアシスタントを配置し、きめ細やかな指導を行う中で実習主体のカリキュラムをより充実させていく。
(3)卒業生との連携強化	成功体験発表会や勉強合宿でのインターンとして幅広く活動した	ティーチングアシスタントを増やし、ゼミの授業やキャンパスツアーを行うなど主体的な活動を促し、縦のつながりを強化していく。
(4)e-sports コース新設	国際コミュニケーション学科 e-sports コースを新設し、業界で活躍できる人材育成を図る	高専連携を強化するため、高校との e スポーツ合同合宿の開催をはじめ、企業や有名プレイヤーとの連携を強化していく。

以上